

日本光学会第 160 回幹事会議事録

日 時： 平成 12 (2000) 年 5 月 15 日 (月)

13:36～16:55

場 所： 九段会館珊瑚の間

出席者： 岩田幹事長，以下 23 名

議 事：

幹事会の開会に先立ち，新幹事長からの挨拶が行われた。

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

次回幹事会（第 160 回幹事会）の日時，場所を訂正。その他については，承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会報告

(1) 「光学」編集委員会報告

・「光学」の編集・製作業務を行っている日本学会事務センターが，英文誌のオンラインジャーナル化等の業務を請け負ったため，第 29 卷 3 号および 4 号の出版が大幅に遅れた。5 号はまもなく発行される。学会事務センターには大坪編集委員長の方から今後このようなことがないように申し入れた。また，4 号に学会事務センターからのお詫びが折り込まれる。

・光学会の 50 周年記念の特集を 2002 年の第 31 卷 4 号に組むため，ワーキンググループを作った。本誌 150 ページ（過去の特集と同程度）で光学会の未来に関する話題とし，過去の出版物の目次等の歴史と特集号の内容を CD-ROM 化または DVD-ROM 化することを考えている。Optics Japan 等で光学会としての 50 周年企画が行われればその内容も掲載する。記念誌および CD (DVD)-ROM (300～500 万) に対する予算措置が依頼された。

(2) 「OR」編集委員会報告

・“OPTICAL REVIEW”は順調に発刊しており，投稿から掲載までの期間は，現在かなり早くなっている。

・月ごとの投稿数としては，4 月，5 月は少なくなっているが，2000 年の海外からの投稿は現在までに 9 件と，特集号はないが増えている。

・Advisory Member の一部交代を行うため，現在選出した方々に依頼状を送付している。また，編集委員長を一岡芳樹，出版委員長を山口一郎に変更した。

・ジャンル別の変更・追加を行い，Vol. 7, No. 3 から記載する。変更されるのは，0310, 0407, 0602, 0603 の

各項で 0713, 0807 を追加する。

・機関購読増大のキャンペーンを行う。また会員の増大もかかる。

2-2. 講演会関連報告

(1) Optics Japan 2000 進捗報告

・「光学」5 号に講演募集要項が掲載される。開催日時は当初 10 月 7, 8, 9 日の 3 日間の予定だったが，従来（昨年以外）は 2 日間のため，講演は 7, 8 日の 2 日間とした。また 9 日は各研究グループ等のポストコンファレンスのための会場（大学の教室等）の提供を予定している。

・参加費等は昨年に引き続き会員と会員外で価格差をつけている。講演申し込みは Fax や電子メールに加え，Optics Japan のホームページからもできるようになる。

毎年 Optics Japan 講演申し込み用のシステムを作ることは非効率であり，今後，光学会としてどのようにしていくか検討してもらいたい。

・Optics Japan に必要な学会備品を光学会本体の予算でできるように申請する予定。

(2) 関西支部連合講演会進捗報告

・第 33 回光学五学会関西支部連合講演会は 5 月 26 日に大阪で開催される。

(3) ICOSN 2001 進捗報告

・第 2 回 OSJ-SPIE 共同会議を 2001 年 6 月に開催する予定であり，SPIE に案内を発送し了解を得た。また，展示会を開催するため，日本光学測定機工業会には協賛を申請した。会議の準備としては各委員を人選中の段階であるが，次回の応物理理事会で国際会議準備金貸付申請をするため，昨年度の実質ベースで予算案を作成した。

(4) 光学シンポジウム進捗報告

・「光学」5 号にプログラムを掲載した。準備はスケジュール通り進んでいる。プログラムでは，評価・計測のセッションでポスターセッションを行う予定。

(5) サマーセミナー進捗報告

・4 月 18 日に第 3 回実行委員会を開催した。講師の方々には内諾を頂いた。幹事会で承認後幹事長名で依頼する。協賛に関しては昨年のまで現在検討中。

・定員は 70 名で講師，幹事等の人数を除いた 55 名程度を募集する。

・イブニングセッションと懇親会の順番を昨年と逆にし，先に講師の方々の講演を聴いた後に懇親会を開き，議論の内容が増やせるように配慮した。

- ・予算（案）は、応物学会からの補助金（5月締切）が20万円以下になり、昨年度と比べて収入が減少するため、ポスター等で宣伝し参加者を増やすことを試みる。

(6) 冬期講習会進捗状況

- ・実行委員3名が確定した。あと5名程度の幹事を現在人選中。6月中頃に最初の委員会を開催する。
- ・会場は、東大生研（六本木）が来年1月まで使用可能なので、引き続き使わせていただく予定。
- ・講習会のテーマは現在検討中であり、いくつかりストアップしている状態。

2-3. その他報告事項

(1) 光学論文賞募集要項

昨年度の応募者が少なかったため、応募規程がわかりやすくなるように文章を変更している。受賞対象者の規程の部分や歴史が違っている可能性があるので再度調査する。

(2) 光学論文賞審査委員について

審査委員予定者の提案があり、選任は幹事長一任となった。なお、委員名は7月号の「光学」で公表する予定にしている。しかしながら、候補者が決まってから、その分野に詳しい人を委員に選ぶ必要があるのではないかとの意見がでたため、今後、現在の選考手続きの見直しを検討する。

(3) 日本光学会資料室について

前回の幹事会で決定した。3月10日に部屋を下見し手続きを開始し4月1日から利用可能。応物学会が法人賃貸契約者（光学会が法人格をもっていないため）で日本光学会が支払う。今後早急に使用規程を作成する。

(4) 日本光学会会員名簿の記載間違いについて

事務処理上の手違いにより、先日発行した会員名簿において、光設計グループに所属する方の9割以上が位相共役・光波ミキシンググループの所属と掲載されてしまった。「光学」に掲載する幹事会議事録の部分にお詫びの文章を入れる予定。

(5) 協賛依頼

10件の協賛依頼があった。今後申請書式を送付し、提出してもらうことにする。

(6) 会員動静

4月の会員動静は、A、B会員ともに4名の微増であった。今後、推移のグラフを作ってもらえないか、応物事務局の方に問い合わせせる。

(7) 会計処理について

支払い等の請求は手引きに従って行ってほしい。応物から光学会からの伝票の送付が遅いとの苦情がきているた

めできるだけ処理を早めてほしい。

3. 審議事項

(1) 北陸信越講演会について

今後、北陸信越地区でも日本光学会の講演会を開催していきたいとの申し入れがあった。提案の背景、目的と、本年度から3年間の開催幹事大学が示された。議論の結果、開催時の補助金支出も含め承認された。

(2) 幹事会の日程変更について

先に示した幹事会日程のうち、7月7日（金）は応物理事会と重なるため、7月6日（木）に変更し、9月8日（金）は前日まで札幌で応物学会が開催しているため9月13日（水）に変更する案が示され、承認された。

(3) 議事進行について

幹事会の議事が報告事項に時間をとられ、審議事項に十分な時間がとれないため、審議事項を先に行うとの意見があり議論した。会議の中で先の会議の内容を確認する必要もあり、報告事項は先に行うが、報告事項の中で審議しているような部分もあるため、今後、資料提出時に審議が必要な内容を箇条書き等で抜き出し、会議全体での審議が必要な内容を明確にわかるかたちにし、それに必要な時間の調整を可能にすることとした。

(4) 光学会のメールアドレス・リストの利用について

- ・各種案内を出すために会員名簿にあるメールアドレスのリストを使いたいとの申し入れがあった。メールアドレス・リストはホームページ担当のところにあるため、幹事長の承認を得た上で、担当幹事のところに送信したい内容を送って送信してもらう形で、利用できることとした。メールはBCCで出し、受信者以外のアドレスがメールに現れないようにする。

- ・現在のリストは1999年度の名簿用として作ったものであり、更新できない。そのため応物学会がもつ更新済みの情報を隨時提供してもらえないか、応物学会と協議する。また、メールアドレス・リストの管理の仕方や使い方を今後検討する。

(5) 名簿作成に利用したアンケート用紙の処理について

名簿作成に用いたアンケート用紙には、そこにしか記載されていない情報もあり、次回の名簿作成時に利用する（案内発送等）可能性があるため、取り扱い注意の上保管することになった。

(6) サマーセミナー予算について

担当委員の作成案で承認された。

(7) 冬期講習会について

幹事会として講習会の方向性を検討する必要があるとの意見があり、現在リストアップしている内容について説

明があった。

(8) 光学シンポジウムの原稿のホームページ掲載について
光学シンポジウムに投稿した自分の原稿を自分（会社）
のホームページに掲載したいとの申し入れがあった。今
後このような申し入れも増えることが予想され、これに
対して、どのように対応するか基準を決めたい。本人が
投稿したものそのまま載せるのであれば、修正しない
との約束のもとに掲載を承認してもよい。しかしながら、
少しでも変更している場合は、新しいものとして考
える。

次回幹事会は、7月6日（木）13：30～ 日本光学会資
料室

平成12年度第1回常任幹事会

2000年7月6日（木）に日本光学会資料室において開
催されました。「光学」「OR」編集委員会報告、ICOSN
2001、光学シンポジウム、Optics Japan 2000、関西支部
連合講演会、サマーセミナー、冬期講習会等の講演会関連
報告および審議、日本光学会奨励賞審査結果、光学論文賞
審査委員等について報告がなされました。また次期幹事選
出方針、資料室利用規定、50周年記念事業、光波シンセ
シス研究グループ設立等について審議がなされました。な
お、詳しい議事録は11号に掲載予定です。

平成12年度第2回「光学」編集委員会

2000年7月5日（水）、（財）日本学会事務センター会
議室において開催されました。第30巻第2号～第3号企
画、30巻4号～7号構想案について審議が行われました。
また特集外解説、新講義シリーズ項目案、日本光学会50
周年記念号について審議がなされました。そのほか、各号
進捗状況、論文投稿・審査状況、会計等について報告がな
されました。

Optics Japan 2000 in 北見

日本光学会（応用物理学会）は、年次学術講演会として
Optics Japan を10月7日（土）、8日（日）、北見工業大
学において開催します。詳細については本誌29巻8号の
綴じ込み案内、またはホームページ（<http://infmd1.cs.kitami-it.ac.jp/obj2000/>）をご覧ください。

第8回テラ光情報技術研究会/第92回光コンピューテ ィング研究会

共 催： 大阪科学技術センターテラ光情報技術研究会、
日本光学会（応用物理学会）光コンピューティング研

究グループ

日 時： 11月1日（水） 13：30～18：00

会 場： 大阪科学技術センター 701号室

テマ： 薄型（カードサイズ）情報システム

プログラム：

1. 薄型画像入力システム：TOMBO

谷田 純（大阪大学大学院工学研究科物質・生命
工学専攻）

2. TOMBO用イメージセンサ

宮武茂博（ミノルタ）

3. インテリジェントイメージセンサー Camera On A Chipを目指して—

太田 淳（奈良先端科学技術大学院大学物質創成
科学研究科）

4. 懇親会

会場までの交通： 地下鉄四つ橋線本町駅下車 28番出口北
へ徒歩3分 (<http://www.ostec.or.jp/pop/pomap.html>)

問合せ先： 大阪大学 小西 豪

E-mail: konishi@ap.eng.osaka-u.ac.jp

電話 06-6879-7931

松下電器産業 武内喜則

E-mail: take@mrit.co.jp 電話 044-911-6246

技術講座「収差論」「偏心光学系の3次の収差論」

開催日：

「収差論」：2000年9月29日（金）、10月13日
（金）、27日（金）、11月10日（金）、24日（金），
12月8日（金）、22日（金）、2001年1月12日
（金）

「偏心光学系の3次の収差論」：2001年1月26日
（金）

会 場： 機械振興会館別館4階（東京都港区芝公園3-5-
22）

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

問合せ先： (社)日本オプトメカトロニクス協会

東京都港区芝公園3-5-22 機械振興会館別館

電話 03-3435-9321

定 員： 30名

第2回分光画像の記録と高精細色再現に関する国際シ ンポジウム

期 日： 2000年10月10日（火）、11日（水）

場 所： 千葉大学けやき会館（千葉市稻毛区弥生町 1-

主 催：千葉大学三宅研究室
 問合せ先：千葉大学工学部情報画像工学科 津村徳道
 電話 043-290-3262
 E-mail: tsumura@ics.tj.chiba-u.ac.jp

ご逝去

0004206 横田 英嗣
 応用物理学会評議員、日本光学会元幹事長
 〒253-0054 茅ヶ崎市東海岸南 4-11-66
 2000年7月24日 死去

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9 旭光学工業(株)光学研究部第1研究室 米山修二
 電話 03-3960-4664 Fax 03-5392-2013 E-mail: s.yoneyama@aoc.pentax.co.jp
 なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までにお願いします。

日本光学会平成12年度幹事 (*常任幹事)

| | |
|---------------------------------|---|
| 幹事長： | 岩田 耕一* (大阪府立大) |
| 副幹事長： | 松本 弘一* (計量研) |
| 庶務幹事： | 佐藤 裕志* (コニカ) 埜田 友也* (ニコン) 石渡 裕* (オリンパス) 中野 隆志* (融合研) 伊藤 治彦* (東工大) |
| | 大谷 幸利* (農工大) 門野 博史* (埼玉大) 小野寺理文* (能開大) 米山 修二* (旭光学) |
| 『光学』編集幹事： | 大坪 順次* (静岡大) 尾松 孝茂 (千葉大) |
| | 堀 裕和 (山梨大) 中川 清 (神戸大) |
| 『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事： | 一岡 芳樹* (大阪大) 芳野 俊彦 (群馬大) |
| 国際協力幹事： | 山口 一郎 (理研) |
| 将来問題担当幹事： | 中橋 未三 (東京工芸大) |
| 前幹事長： | 山口 一郎 (理研) |
| 企画・事業担当幹事： | 亀丸 俊一 (北見工大) 山田 秀則 (富士ゼロックス) 高梨 健一 (リコー) 橋本 信幸 (シチズン時計) 森 峰生 (通信・放送機構) 大高 真人 (福井大) 藤原 巧 (豊田工大) 財部 健一 (岡山理科大) |
| | 坂田 肇 (キヤノン) 本宮 佳典 (東芝) 天野 主税 (NTT) 岡井 誠 (日立) 羽根 一博 (東北大) 佐々木修己 (新潟大) 塩野 照弘 (松下電器) 森 邦彦 (鹿児島大) |